

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成29年 7月31日

計画の名称	精華町における浸水対策の推進（防災・安全）									
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）			交付対象	精華町					
計画の目標	集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、浸水対策を実施することにより、水害に強い安全・安心なまちづくりを推進する。									
計画の成果目標（定量的指標）	下水道による都市浸水対策の達成率を88%（H22）から89%（H26）に増加させる。									
定量的指標の定義及び算定式	都市浸水対策を実施すべき区域の面積のうち、概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全であるよう下水道整備が完了している区域の面積の割合 下水道による都市浸水対策達成率（%） =（概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積（ha）／（都市浸水対策を実施すべき区域の面積（ha））						定量的指標の現況値及び目標値		備考	
							当初現況値 （H22当初）	中間目標値 （H23末）	最終目標値 （H26末）	
							88.0%	88.0%	89.0%	
全体事業費	合計 （A+B+C）	300百万円	A	300百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C／（A+B+C）	0.0%

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
・本町上下水道部下水道課内において評価を実施。	・事業終了後 公表の方法 ・町ホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業											上段（計画）	下段（実施）						
A2 下水道事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
											H22	H23	H24	H25	H26			
1-A2-1	下水道	一般	精華町	直接	—	雨水	新設	菅井排水区（浸水対策）	排水路2800×2000 L=230m 排水路2800×2000 L=209.8m	精華町						186.0		
1-A2-2	下水道	一般	精華町	直接	—	雨水	新設	九百石川排水区（浸水対策）	排水路2000×2000 L=30m 排水路1800×1700 L=55.7m	精華町						114.0		
小計（下水道事業）																	300.0	
合計																	459.0	

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 （延長・面積等）	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		雨水路整備の進捗により、都市浸水対策達成率を向上できた。		
II 定量的指標の達成状況	下水道による都市浸水対策達成率 (%)	最終目標値	89.0%	目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値	89.0%	
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)				
3. 特記事項 (今後の方針等)				
都市浸水対策達成率については、今後も浸水対策を実施し、都市浸水対策達成区域の拡大に努める。				

(参考様式3)

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

計画の名称	精華町における浸水対策の推進 (防災・安全)		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	精華町

